

## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2784 URL <http://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 傳六

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 財務・広報IR担当 (氏名) 三宅 俊一

TEL 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,885,355	4.2	24,413	18.4	32,119	17.0	18,951	5.6
25年3月期第3四半期	1,808,944	2.0	20,616	245.3	27,458	108.8	17,939	226.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 20,776百万円 (6.6%) 25年3月期第3四半期 19,485百万円 (169.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	342.48	—
25年3月期第3四半期	341.08	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,216,469	299,411	24.6
25年3月期	1,189,241	283,956	23.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 299,190百万円 25年3月期 283,757百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	46.00	—	47.00	93.00
26年3月期	—	49.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	49.00	98.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,483,000	4.0	24,300	3.2	33,400	3.5	17,600	△15.3	318.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                     |          |              |          |              |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期3Q | 58,754,400 株 | 25年3月期   | 58,754,400 株 |
| ② 期末自己株式数           | 26年3月期3Q | 3,418,659 株  | 25年3月期   | 3,416,940 株  |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計)    | 26年3月期3Q | 55,336,621 株 | 25年3月期3Q | 52,595,193 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～12月31日）におけるわが国経済は、政府、日銀の大胆な金融・財政政策を背景とした円安・株高の進行により、一部企業において収益改善が見られるものの、新興国の成長鈍化や消費税増税による個人消費への影響が懸念されるなど、楽観視できない状況が続いております。

このようななか当社グループでは、新たに「13-15中期経営計画 変革への挑戦～次なる頂（いただき）を目指して～」を策定し、健康に関するサービスを総合的に提供する「ヘルスケアコンソーシアムの実現」、「安心、安全、誠実の追求」、ならびに「人づくり」を基本方針として、「社会から信頼される企業グループを目指す」「新たな時代を拓く人財を育成する」「医療用医薬品卸売事業の次なるステージを目指す」「事業間連携・企業間連携の推進によりグループシナジーを追求する」「健康・医療関連事業への進出を図る」の5つの主要な経営テーマへの取り組みに着手いたしております。

昨年11月、高知県および徳島県・愛媛県において診断薬卸売業を中心とした事業を行う篠原化学薬品株式会社（本社：高知県高知市）との間で、業務提携に関する基本合意書を締結いたしました。両社にて、診断薬卸売事業に係る営業・物流・情報システムやカスタマーサポートに関する連携強化など、企業価値の一層の向上に向けた検討を進めております。

また昨年11月、ベトナム国内の医療関連製品卸業界において地場企業として最大手であるCONG TY TNHH MTV DUOC PHAM TRUNG UONG 2(Codupha)との間で、合弁会社Alfresa Codupha Healthcare Vietnam Co., Ltd.（アルフレッサ コドゥファ ヘルスケア ベトナム 所在地：ベトナム社会主義共和国ホーチミン市 当社出資比率70%）を設立し、同国において医療機器・医療材料を中心としたヘルスケア関連製品の輸入・販売に向けた企画、準備を進め、本年1月より営業を開始しております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は1兆8,853億55百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は244億13百万円（前年同期比18.4%増）、経常利益は321億19百万円（前年同期比17.0%増）、四半期純利益は189億51百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

各セグメントの業績については、次のとおりであります。

#### [医療用医薬品等卸売事業]

医療用医薬品市場におきましては、生活習慣病薬をはじめとする新製品や抗がん剤が順調に推移したことなどにより、2.7%の伸長（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定）となりました。

このようななか当社グループは、厚生労働省の「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会（流改懇）」の流通改善第3ラウンドの2年目として、「経済合理性に立った取引」、「単品単価取引の励行」、「価格未妥結・仮納入の改善」に積極的に取り組むとともに、引き続きお客様へのサービス向上と業務の効率化を推進してまいりました。昨年11月には、アルフレッサ株式会社が、首都圏の中心部に6支店を併設した都市型医薬品センターである「文京医薬品センター」（東京都文京区）を稼働させました。多くの医療機関や調剤薬局のお客様が医療サービスを提供されている東京都の中心部に豊富な在庫を有することにより、さらに迅速で安定的な物流を展開することが可能となりました。また、同社では昨年8月よりタブレット型端末を全支店MSに導入して、お客様や製薬会社各社に最新かつ正確な医薬品情報等の提供をより確実かつスピーディーに提供するなど、営業機能の高度化を進めております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、常盤薬品株式会社（本社：山口県宇部市）が平成24年10月より連結子会社となった影響などもあり、売上高は1兆7,212億4百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は229億51百万円（前年同期比8.1%増）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高36百万円（前年同期比44.6%減）を含んでおります。

#### [セルフメディケーション卸売事業]

セルフメディケーション卸売事業におきましては、利益改善への取り組みや物流の効率化および業務改革を継続し、事業基盤の確立に努めております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,518億79百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は6百万円（前年同期は営業損失20億7百万円）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高4億66百万円（前年同期比16.1%増）を含んでおります。

[医薬品等製造事業]

医薬品等製造事業におきましては、かねてより自社内製化により原価率の低減を進めておりました迅速診断キット製品をはじめとする体外診断薬群が順調に推移しております。また、昨年6月にアルフレッサ ファーマ株式会社の茨木リサーチセンター（大阪府茨木市）の建て替えが終わり、新たな体外診断薬製品の開発や既存製品の改良、および個別化医療にも貢献できる付加価値の高い診断薬製品の開発ができる体制といたしました。さらに、同社岡山製薬工場（岡山県勝田郡勝央町）において国際的医薬品のGMP基準に適合した医薬品の包装などを行う新棟を建設し、生産および包装能力を強化して事業規模拡大に向けた基盤を強化してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は199億42百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は14億13百万円（前年同期比37.0%増）となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高71億67百万円（前年同期比3.0%増）を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

[資産の部]

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1兆2,164億69百万円となり、前連結会計年度末より272億28百万円増加いたしました。これは主に「受取手形及び売掛金」の増加718億8百万円や有形固定資産の増加147億75百万円があったことによるものです。

[負債の部]

負債は9,170億58百万円となり、前連結会計年度末より117億73百万円増加いたしました。これは主に「支払手形及び買掛金」の増加338億57百万円や「未払法人税等」の減少181億60百万円によるものです。

[純資産の部]

純資産は2,994億11百万円となり、前連結会計年度末より154億55百万円増加いたしました。これは主に「利益剰余金」の増加136億15百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、昨年5月9日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	146,093	115,726
受取手形及び売掛金	563,458	635,267
有価証券	67,007	27,999
商品及び製品	134,843	143,159
仕掛品	457	588
原材料及び貯蔵品	1,647	2,009
その他	67,431	67,686
貸倒引当金	△483	△418
流動資産合計	980,456	992,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,362	36,925
土地	50,704	63,034
その他（純額）	11,296	11,177
有形固定資産合計	96,362	111,137
無形固定資産		
のれん	4,862	4,007
その他	6,087	5,703
無形固定資産合計	10,950	9,710
投資その他の資産		
投資有価証券	85,258	88,622
その他	20,548	19,621
貸倒引当金	△4,335	△4,641
投資その他の資産合計	101,472	103,602
固定資産合計	208,785	224,451
資産合計	1,189,241	1,216,469

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	821,663	855,520
短期借入金	880	860
未払法人税等	19,276	1,116
賞与引当金	6,818	3,562
その他	15,901	15,260
流動負債合計	864,539	876,319
固定負債		
長期借入金	1,484	989
退職給付引当金	17,399	17,420
その他	21,861	22,328
固定負債合計	40,745	40,738
負債合計	905,284	917,058
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	100,109	100,110
利益剰余金	139,848	153,464
自己株式	△1,178	△1,187
株主資本合計	257,233	270,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,004	32,726
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	△4,490	△4,466
為替換算調整勘定	9	90
その他の包括利益累計額合計	26,523	28,350
少数株主持分	198	220
純資産合計	283,956	299,411
負債純資産合計	1,189,241	1,216,469

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,808,944	1,885,355
売上原価	1,686,234	1,759,201
返品調整引当金戻入額	705	785
返品調整引当金繰入額	762	731
売上総利益	122,653	126,207
販売費及び一般管理費	102,036	101,794
営業利益	20,616	24,413
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,690	1,867
受取情報料	4,339	4,435
その他	1,468	1,925
営業外収益合計	7,498	8,228
営業外費用		
支払利息	116	108
貸倒引当金繰入額	—	32
持分法による投資損失	380	166
不動産賃貸費用	73	94
その他	86	120
営業外費用合計	656	522
経常利益	27,458	32,119
特別利益		
固定資産売却益	60	2
投資有価証券売却益	224	109
受取和解金	—	175
受取補償金	59	66
負ののれん発生益	4,741	—
補助金収入	32	—
特別利益合計	5,119	352
特別損失		
固定資産売却損	534	44
固定資産除却損	172	281
減損損失	596	497
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	33	1
抱合せ株式消滅差損	—	106
特別退職金	689	48
のれん償却額	779	—
事業構造改革費用	33	—
その他	—	112
特別損失合計	2,839	1,095
税金等調整前四半期純利益	29,737	31,376
法人税、住民税及び事業税	12,031	10,250
法人税等調整額	△429	2,152
法人税等合計	11,601	12,402
少数株主損益調整前四半期純利益	18,135	18,973
少数株主利益	196	21
四半期純利益	17,939	18,951



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主利益	196	21
少数株主損益調整前四半期純利益	18,135	18,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,352	1,721
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△2	81
その他の包括利益合計	1,349	1,803
四半期包括利益	19,485	20,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,288	20,754
少数株主に係る四半期包括利益	197	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計 上額(注)2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメディ ケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,641,608	154,140	13,195	1,808,944	—	1,808,944
セグメント間の内部売上高 または振替高	66	402	6,959	7,428	△7,428	—
計	1,641,674	154,542	20,155	1,816,372	△7,428	1,808,944
セグメント利益または損失(△)	21,233	△2,007	1,031	20,257	359	20,616

(注) 1. セグメント利益または損失の調整額359百万円には、セグメント間取引消去5,019百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△4,660百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益または損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計 上額(注)2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメディ ケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,721,167	151,412	12,775	1,885,355	—	1,885,355
セグメント間の内部売上高 または振替高	36	466	7,167	7,670	△7,670	—
計	1,721,204	151,879	19,942	1,893,025	△7,670	1,885,355
セグメント利益	22,951	6	1,413	24,371	41	24,413

(注) 1. セグメント利益の調整額41百万円には、セグメント間取引消去4,483百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△4,442百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。